

荊田港南航路航行船舶への対応

作業区分	最小可航幅	退避対象船舶	作業船の退避	行会い調整 行会い回避
潜水探査	195m	<ul style="list-style-type: none"> ・全長195m超 ・全長185m超 (曳船随伴時) 	<p>その時点の可航幅Wが航行船舶の全長L（自動車専用船の場合は7B）未満である場合は、航路外に退避する。なお、曳船を随伴する航行船舶に対しては、$1.0L+10m$（自動車専用船の場合は$7B+10m$）の可航幅を確保出来ない場合は、航路外に退避する。</p> <p>本船側から事前の調整段階で要請があった場合は、作業船は航路外に退避する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・500総トン以上で$L_1+L_2 \times 4/6$を確保出来ない船舶に対する作業水域付近での行会い調整の協力依頼。 ・500総トン未満の船舶の行会い回避の協力依頼 ・500総トン未満の船舶で南航路航行を希望する船舶については、行会い調整をする。 ・協力依頼は、原則としてより船型の小さい船舶から協力を依頼し、調整ができない場合は、より船型の大きい船舶に対して協力を依頼する。
グラブ浚渫	220m	<ul style="list-style-type: none"> ・全長220m超 ・全長210m超 (曳船随伴時) 	<p>その時点の可航幅Wが航行船舶の全長L未満である場合は、可航幅$1.0L$（自動車専用船の場合は7B）を確保する位置まで退避する。なお、曳船を随伴する航行船舶に対しては、$1.0L+10m$（自動車専用船の場合は$7B+10m$）の可航幅を確保する。</p> <p>本船側から事前の調整段階で要請があった場合は、作業船は航路外に退避する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・500総トン以上で$L_1+L_2 \times 4/6$を確保出来ない船舶に対する作業水域付近での行会い調整の協力依頼。 ・500総トン未満の船舶の行会い回避の協力依頼 ・500総トン未満の船舶で南航路航行を希望する船舶については、行会い調整をする。 ・協力依頼は、原則としてより船型の小さい船舶から協力を依頼し、調整ができない場合は、より船型の大きい船舶に対して協力を依頼する。

荊田南航路 浚渫工事海域 略図

